

由利

立教187年

令和6年

天理教由利分教会

郵便番号 015-0862

由利本荘市小人町159

電話 0184-22-0707

FAX 0184-22-1235

メール yurisoudan13@outlook.com

12月号



教祖百四十年祭いきみの集い

一ヶ月間の主な歩み

十一月

- 一日 教務支庁ひのきしん
- 二日 北蒲原分教会月次祭
- 三日 大教会月次祭
- 四日 みちのだい育み塾
- 五日 本部月次祭、婦人会例会
- 六日 二七日～二十九日 役員当番
- 三十日 大教会役員会議

十一月

- 一日 秋田教区いきみの集い
- 二日 支部例会（由利分）
- 三日 お願いづとめ（十三時半）
- 四日 おさづけ取り次ぎ日
- 五日 避難訓練
- 六日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正明

今月の言葉は本愛大教会発行、「初代会長 実践教理集」から抜粋します。

かしもの かりもの

○人間の指が十本あるのは、この神様が、人間の身体をおこしらえくださるには、十柱の神様が十カ月お働きくださる理である。子が宿ると、毎月、受け持ちの神様がお働きだされ、十カ月で人間の身体は完成する。それで、手の指十本は、人間をおつくりだされたしるしだある。

○むほんの病気というのは、筋の病気となり、骨の病気となり、関節の病気となる。人間の身体は、血肉と骨と皮と筋でできている。骨の病

氣、皮の病気、筋の病気は悪強情の精神が根である。

○魂の掃除と、魂への種まきの二つが長命となり幸福となるのである。この二つの長命と幸福を見て、親神様も楽しみたいという思召をもつて人間をつくられたのである。

○人間は出直しすると、靈は天へ昇り、肉体は地に火葬、土葬となつて分かれているのである。ゆえに、靈に付着したものは持ち返るのであり、これを無形財産という。

○有形財産は肉体に付着するもので、肉体はかりものであるから、大事な主人でも妻でも可愛い子供でも、また汗水たらしてつくりあげた財産でも、みなお返し申すので、これがかりものの理となるのである。

教務支庁清掃ひのきしん

十一月十五日午前十時より教務支庁清掃のひのきしんを由利支部でさせて頂きました。

神殿内の掃除や、障子の張り替えなどをおこない、その後教務支庁で昼食を食べ、解散となりました。大変お疲れ様でした。

由利支部 育み塾

十一月二十三、由利分教会で育み塾が開催されました。

婦人会の行事で、若いも若きもおへつながろう！ということでお全の守護すごろくを楽しみました。マ



り、そこから練り合いをして和気あいあいと楽しみました。

秋田教区教祖百四十年祭いさみのつ とい開催

年祭活動の躍進に向かって
秋田教区教祖百四十年祭いさみのつ
とい開催

今月十二月一日午前十時より、秋田教務支庁において“秋田教区教祖百四十年祭いさみのつどい”が開催されました。

三殿参拝の後、開会の挨拶として、菱川教区長先生が同つどいを開催するに至った教区の思いをお話しされ、又このつどいを通して年祭活動のさらなる実動に繋げて頂きたいと教区長としての強い思いを訴えられました。

その後記念講演として、韓国伝道府長、吉川万寿彦（ますひこ）本部員先生のお話しとなりました。お話を冒頭からまず『皆さん、LEDの様な心（常に変わることなくいつまでも明るい心）になりましょう』という

最初からユーモアに溢れた参加者を引き付けるようなお話から始まりました。

同先生は、青年時代に韓国伝道庁の書記を長い間つとめられ、伏せ込まれました。韓国伝道というと、天理教信者数は何万人もおられるようですが、現在天理教信者の組織が二つに分かれているという事です。その事でも想像がつくかと思いますが、（一つの組織は、天理教本部に直結している組織です。）おそらく先生が書記をつとめられている頃の伝道

序は、全体を治めていくのに並大抵ではない御苦労があつたと思います。先生は、そのような様々なお道の御苦労の節を経て、ついには陽気な心とお助けの実践の姿勢が見事に融合したような高い次元の信仰に辿り着かれたのではないかと勝手な推察ではあります、そう思わせて頂きました。

う表現がありますが、においがけ、お助けの前の段階でまず相手に親身に寄り添う事が大切で、それがやがてにおいがけ、お助けに繋がつていいのではないかとお話されました。確かにその姿勢を忘れてはいけないと痛感致しました。

同つどいは、この記念講演の後、質疑応答、その後総立ちでよろづよ八首をつとめさせて頂き、お昼頃に閉会致しました。

由利分教会元旦祭ご案内

十二月十五日（日）九時半

婦人会恒例の大掃除、教会神殿の大掃除をさせて頂きます。何卒ご協力よろしくご協力お願いします。

令和七年元日午前十時三十分より執行させて頂きます。元気に新年を迎えて頂ける事の御礼と、結構に新たな一年を迎えて頂ける事を祈願してつとめさせて頂きます。

後半のお話の中でしたが、諭達第四号の中に“親身に寄り添い”といい

春季大祭祭典役割表

神殿講話 北蒲原分教長様

開扉・献饌の男子の方は十時まで、女子の方は、十時二十分までおつと
め着を着用し、神殿にご集合下さい。

会 長	祭 主	扈 者	賛 者	指 図 方	ておどり														
					坐りづとめ		前半		後半										
地方 (主)	地方 (副)	由	仁	会	会	矢	木	木	木	伊	伊	齊	小	齊	小	豊	豊	齊	仁
松田理奈	佐々木めぐみ	北蒲原奥様	佐々木由布	由利東之浜	雄物川	佐々木由正	東滝沢	利翔布	北蒲原会長	由利道	仁賀保	会長夫人	矢島町	木内教子	木内教子	伊藤奈律子	伊藤奈律子	小野恭和	由利道
小川道子	斎藤美和子	中村柳子	斎藤清一	佐々木由明	小林大晃	齋藤賢爾	利翔布	佐々木義實	雄物川	由利道	東滝沢	会長夫人	小松敬子	小松敬子	佐々木理英子	佐々木理英子	佐々木素子	佐々木素子	賀保
畠山清香	小川貴美子	小川昭子	小川心	小野繁樹	木内正信	桑原廣	佐々木義實	豊島優	豊島栄二	由利東布	伊藤伸	佐々木由明	佐々木由明	佐々木由明	佐々木由明	佐々木由明	佐々木由明	佐々木由明	仁賀保

矢島町分教会

部内だより

東滝沢分教会

十一月十六日、矢東の大祭に行かせて頂きました。高齢者ですが元気で有り難いです。

毎年恒例の十一月おぢば帰りをしました、帰路に北陸の温泉でゆっくりたのしいおぢば帰りでした。

由利道分教会

今年は一人の孫が誕生し、外孫計四人のジジになりました。ところが内孫は授かる気配もありません。